

日本有数の国際貿易港 四日市港



積卸港別貿易額 全国12位
(2020年 財務省発表)

※空港を除く



末広橋梁
(国指定重要文化財)
現役で使用されている
日本で最古の鉄道可動橋。

歴史を体感



潮吹き防波堤

大堤と小堤の二重構造と五角形の水抜き穴
が特徴で、港湾施設としては全国で初めて
国の重要文化財に指定されました。

1899 (明治 32) 年 8 月に開港した四日市港は、羊毛や綿花の輸入港として栄え、石油化学コンビナートが形成されてからは、原油や液化天然ガス、石炭などを多く輸入するエネルギー港湾へと成長してきました。

現在では、コンテナやバルク (バラ積み) 貨物、そして自動車などを扱う総合港湾として、背後圏産業を物流面から支える中部圏の代表的な国際貿易港の一つとなっています。



四日市港ポートビル

四日市港を満喫

四日市港ポートビルは開港 100 周年を記念して建てられた、高さ 100 m のビルです。最上階 14 階の展望展示室「うみてらす^{フォーティーン}14」からは四日市港の景色、臨海工業地帯、鈴鹿山脈などを一望できます。四日市港には「ダイヤモンドプリンセス」や「飛鳥Ⅱ」などの大型客船も寄港します。



うみてらす 14



ダイヤモンドプリンセス

